※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | 102 |
|---|---|

# 令和８年度　家庭科

| 教科 | 家庭 | 科目 | フードデザイン | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 教育図書「フードデザイン」　（教育図書出版） | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

食生活を通して、より良い暮らしとはどのようなことか、関心を持ち自ら実践しよう。
・さまざまな課題について実習等を通して考え、知識・技術を身に付けます。
・安全・衛生に留意し調理の基礎・基本から応用・発展へと取り組みます。

## ２　学習の到達目標

栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識と技術を習得させ、食生活を総合的にデザインするとともに食育の推進に寄与する能力と態度を育てる。

## ３　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技術 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識・技術を身に付けている。 | 食生活を総合的に捉えて計画・実践するために課題を見いだし、食育の推進に寄与するために創意工夫し表現する能力する能力を身に付けている。 | 食生活に関する諸問題に関心をもち食育の推進にむけて主体的に取り組む意欲と態度を身に付けている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 調理の意義と役割 | 食事の意義と役割<br>食事の生理的･社会的役割<br>食品の選択と調理<br>食品の衛生と安全<br>（食中毒予防)･<br>調理実習1<br>食生活の現状とこれからの食生活 | a:食品の特徴、調理上の性質、調理による成分の変化、食品衛生と安全に関する基本的な知識を身に付けている。<br>b: 食事の意義と役割、我が国の食生活の現状について理解し振り返り考えることができたか。<br>c: 食品衛生と安全に配慮し、食品を適切に取り扱い、能率よく、おいしく作ることができたか。 目標と実施方法について感心をもち意欲的に学習に取り組もうとできたか。 | 定期考査<br>授業観察<br>ワークシート<br>レポート<br>実習記録表<br>小テスト | 定期考査<br>授業観察<br>ワークシート<br>レポート<br>実習記録表<br>自己評価<br>相互評価<br>小テスト | 授業観察<br>ワークシート<br>レポート<br>実習記録表<br>自己評価<br>相互評価 |
| | 栄養素のはたらき･食文化 | 栄養素のはたらきと食事計画<br>食文化について<br>調理実習2<br>調理実習3<br>栄養素の役割<br>調理実習4 | a: 各国の伝統的な料理とその食事作法を理解できたか。<br>b: 調理の目的や食べ物のおいしさに関わる要素について考えまとめている。<br>c: 調理の目的や食べ物のおいしさに関わる要素を理解し適切な調理操作ができたか。<br>各国の伝統的な料理とその食事作法に意欲的に関心をもち主体的に学習に取り組むことができたか。 | 定期考査<br>授業観察<br>ワークシート<br>レポート<br>実習記録表<br>小テスト | 定期考査<br>授業観察<br>ワークシート<br>レポート<br>実習記録表<br>自己評価<br>相互評価<br>小テスト | 授業観察<br>ワークシート<br>レポート<br>実習記録表<br>自己評価<br>相互評価 |
| | 栄養バランス | 栄養バランス<br>･栄養素の種類とはたらき<br>･調理実習 5 | a: 栄養素の役割と働きを考える事が出来たか。<br>b: 栄養素の役割と働きを考える事が出来たか。<br>c: 栄養素の役割と働きを考える事が出来たか。<br>d: 栄養素の役割と働きを考える事が出来たか。 | 定期考査<br>授業観察<br>ワークシート<br>レポート<br>実習記録表<br>小テスト | 定期考査<br>授業観察<br>ワークシート<br>レポート<br>実習記録表<br>自己評価<br>相互評価<br>小テスト | 授業観察<br>ワークシート<br>レポート<br>実習記録表<br>自己評価<br>相互評価 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 2学期 | 栄養バランスと食品の特徴 | 栄養バランスと食品の特徴<br>・食品の特徴と性質①(米について)<br>・調理実習6<br>・調理実習7 | a: 普段の生活に、栄養バランスを考えた食事計画を取り入れる理解が持てたか<br>b: 普段の生活に、栄養バランスを考えた食事計画を取り入れる意識・判断が持てたか。<br>a: 普段の生活に、栄養バランスを考えた食事計画を取り入れることができるよう主体的に学習できたか。 | 定期考査<br>授業観察<br>ワークシート<br>レポート<br>実習記録表<br>小テスト | 定期考査<br>授業観察<br>ワークシート<br>レポート<br>実習記録表<br>自己評価<br>相互評価<br>小テスト | 授業観察<br>ワークシート<br>レポート<br>実習記録表<br>自己評価<br>相互評価 |
| | 食品の特徴 | 食品の特徴<br>・食品の特徴と性質②(小麦について)<br>・調理実習8<br>・調理実習9 | a: 小麦粉の種類と用途について理解できたか。材料の特性に合わせた調理方法を理解できたか<br>b: 小麦粉の種類と用途､材料の特性に合わせた調理方法に関して判断できる。<br>c: 小麦粉の種類と用途､材料の特性に合わせた調理方法に関して習得できている。 | 定期考査<br>授業観察<br>ワークシート<br>レポート<br>実習記録表<br>小テスト | 定期考査<br>授業観察<br>ワークシート<br>レポート<br>実習記録表<br>自己評価<br>相互評価<br>小テスト | 授業観察<br>ワークシート<br>レポート<br>実習記録表<br>自己評価<br>相互評価 |
| | 食品の選択と調理・献立作成 | 食品の選択と調理<br>・食品の多様性とその選択<br>・食品の生産と流通<br>・調理実習 10<br><br>料理様式とﾃｰﾌﾞﾙｺｰﾃﾞｨﾈｲﾄ<br><br>献立作成<br>・献立の種類と条件<br>・テーマ設定と献立作成<br>・調理実習 11(クリスマス料理) | a: ﾌｰﾄﾞﾏｲﾚｰｼﾞを理解し現在の日本の食について知識を深めることが出来たか。<br>・ﾃｰﾌﾞﾙｺｰﾃﾞｨﾈｲﾄの必要性を理解できたか。<br>和洋中の代表的な様式、ﾃｰﾌﾞﾙｺｰﾃﾞｨﾈｲﾄ、ｻｰﾋﾞｽの方法を理解できたか。<br>・テーマにあった献立を作成することができたか。<br>b: 和洋中の代表的な様式､ﾌｰﾄﾞﾏｲﾚｰｼﾞ等に関心を持ち、季節・行事に合う食卓の演出をしようとしている。<br>和洋中の代表的な様式、ﾃｰﾌﾞﾙｺｰﾃﾞｨﾈｲﾄ、ｻｰﾋﾞｽの方法を工夫し演出している。<br>c: ﾃｰﾌﾞﾙｺｰﾃﾞｨﾈｲﾄ､ｻｰﾋﾞｽの方法を実践することができる。 | 定期考査<br>授業観察<br>ワークシート<br>レポート<br>実習記録表<br>小テスト | 定期考査<br>授業観察<br>ワークシート<br>レポート<br>実習記録表<br>自己評価<br>相互評価<br>小テスト | 授業観察<br>ワークシート<br>レポート<br>実習記録表<br>自己評価<br>相互評価 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 3学期 | テーブルコーディネート | 料理様式と<br>ﾃｰﾌﾞﾙｺｰﾃﾞｨﾈｲﾄ<br>献立作成<br>調理実習 12 | a: テーマにあった献立を作成することができたか。<br>人をもてなす料理の知識を習得し、またその人をもてなす料理の楽しさを理解したか。<br>人をもてなす料理の技術を習得したか。<br>b: 人をもてなす料理の演出をしたか。<br>c:人をもてなす料理の知識と技術を積極的に学ぼうとしたか。 | 定期考査<br>授業観察<br>ワークシート<br>レポート<br>実習記録表<br>小テスト | 定期考査<br>授業観察<br>ワークシート<br>レポート<br>実習記録表<br>自己評価<br>相互評価<br>小テスト | 授業観察<br>ワークシート<br>レポート<br>実習記録表<br>自己評価<br>相互評価 |

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度